

広報

やまと

1 月号

2014 No.231



特集

新春風景。

謹賀新年



村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。村民の皆様には、輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。平成26年が、皆様方にとって事故・災害等の無い平和で明るい年でありますよう、心から願ってやみません。

昨年、私は、奄美群島日本復帰60周年という記念すべき年に、多くの村民の皆様のご支援、ご支持を頂き、無投票で再選という栄誉を与えていただきましたことは、誠に光栄であり、心から感謝を申し上げます。これからも、初心を忘れることなく、大和村の歴史と伝統を守りながら、村民の福祉の向上と、大和村の更なる発展のために全力で取り組んで参りますので、今後とも、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、奄美群島では、昨年暮れに奄美群島振興開発事業予算が閣議決定され、新たな交付金制度についても予算が認められたことは、奄美にとって画期的なことでもあります。これからは、それぞれの自治体の取り組みが重要になっていくものと思います。

また、世界自然遺産登録に向けた取り組みも進められており、観光における交流人口の増加が予想されることから、奄美の市町村においては受入体制

づくりが急がれるところであります。本村におきましても自然に恵まれた立地条件を活かしながら観光振興に向けた取り組みの施策も進めていくことが、大事であると考えております。

私は、村政を進める上で「行政は村民の立場に立つて村興しに取り組みなければならぬ」との基本理念の下、村民が主役である村づくりを目指して、村民の声を村政活かしていけるように村政運営を進めて参りたいと考えております。

それでは、年頭に当たり、村政の主な基本方針について申し上げます。まず1点目は、「行財政改革の推進」であります。

村興しの原点は、村民であります。事業の効果や必要性なども十分な検討を行い、最小の経費で最大の効果を目指し、適正な予算執行で健全財政の確立に努めて参ります。

2点目は「農林水産業の振興」であります。

本村の活性化は、やはり第1次産業の振興が第一との考えから、これからも、村のトップセールスマンとして、村外へ特産品のPR活動を積極的に進め、販路の拡大を図って参りたいと考えております。

を図るほか、緊急性のある集落から優先的に整備を進めていきたいと思っております。

6点目は、「子育て支援の推進」であります。

現在実施している、子育て支援策である、出産祝い金・育児助成金・乳幼児医療費の無料化・高校生通学バス全額助成などを継続実施するほか、学童保育への支援の充実を図ります。

7点目は「自然と共存する村づくり」であります。

先人が築き上げた功績を守りながら、「豊かな自然や伝統文化」を継承し、後世に残していくための施策を講じて参りますと共に、大和村の基本理念である「自然と共生し、生き生き、安心、安全な住みよい村づくり」を実現するために努力して参ります。

以上、7つの基本方針を推進し、全職員一丸となって、全力を尽くして参る所存であります。明るく心豊かな「まほろば大和」の創造のため、村民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、村民の皆様方の限りなくご多幸と、益々のご健勝をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



大和村長 伊集院 幼

新年あけましておめでとうございませす。みなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

また、大和毛陣地区に確保致しました実証農園を活かしながら、農家の栽培技術の講習や多種多様な果樹を植栽し、新たな農業の生産性の向上に取り組みたいと思ひます。併せて、大和まほろば館を情報発信の拠点となるよう充実を図っていききたいと思ひます。さらに、農作物の名瀬中央青果市場への集荷・出荷体制を今年度も引き続き実施しますので、生産者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

3点目は、「道路交通網と生活環境の整備」であります。

東部・中部地区の生活環境の整備促進を図るほか、本村の生命道路とも言える主要地方道名瀬瀬戸内線国直・根瀬部間のトンネル化の早期着工に向けて関係機関へ積極的に推進いたします。

4点目は、「企業誘致と定住促進対策の拡充」であります。

特に、本村の喫緊の課題である人口減少に歯止めを掛けるため、計画的な住宅の整備と新たな定住促進施策を実施します。

5点目は、「安全・安心な村づくり」であります。

防災・減災対策として防災センターの整備を始め、集落内の避難所の整備につぎましては、既存施設の機能向上

新春風景。

私たちの祖先は、奄美大島の厳しい自然と共生し、豊かな恵みを楽しんで暮らしを営んできました。

彼らは、自然への感謝と先祖への敬い、神々への祈りを込め、暮らしの節目で年中行事を行ってきました。

暦の改まるごとに繰り返してきた行事の中には、地域ごとに多様な変化を遂げたものや時代の変化と共に簡略化された風習も少なくありません。

中でも正月行事は、各家庭や集落など、地域ごとに特色ある変化を遂げました。また、近年は「成人式」や「消防出初め式」、「新春駅伝大会」など行政が主催する行事も新春の風物詩として定着しつつあります。

時代や地域ごとにより変わりつつある正月行事ですが、新しい年を無事に迎える喜びと、一年が幸せな年であることを願う人々の気持ちに変わりはありません。

人々の「喜び」と「願い」を求め、2014年の新春風景を追いしました。



大和村水泳連盟主催の初泳ぎ（国直海岸）



ワカミズ（若水）

新しい年が明けて最初に汲む水をワカミズ（若水）と呼びます。

ワカミズにはスデイル（若返る）力があると言われ、神棚にお供えした後には洗顔に使用した他、お茶を沸かしたりご飯を炊いたりして家族全員でいただきます。ワカミズは家族が1年間健康で過ごせるように願う風習です。

上水道が整備された現在では単に台所の蛇口から出る最初の一滴をワカミズと称し、同様にお供えする集落もあるそうです。以前は暗い内から先を競って水を汲みに行ったと聞く同風習ですが、最近で行う人がめっきり少なくなりました。



国直のテラシキ（水取場）



初泳ぎ（大和水連）

1月2日は国直海岸で大和村水泳連盟（伊集院幼会長）主催の新春初泳ぎが行われ、村内外から80名のスイマーのみなさんが参加しました。

例年北風が吹き時化の中行われる同イベントですが今年は無風、快晴の好条件。参加者はランニングや準備運動で汗をかいた後、一斉に海へと突入！暖かい陸上と異なり海水は冷たいようで氣勢を発しながらの入水でした。

一行は沖合まで泳ぎ、全員が輪になって恒例の三本締め。一年間の無病息災を海上で祈願しました。

同イベントを主催する水泳連盟事務局の蔵正さん（50歳）によると「初泳ぎは30年以上続く大和村の恒例行事。寒さは身に伝えますが海水に浸かることで身が引き締まりますがすがすがしい気持ちで新年を迎えることができますよ。ぜひ来年は多くの村民に参加して欲しいですね」と語りました。

ワカミズ サンゴン

サンゴン（三献）

サンゴンは、家族全員が表座敷に集まり、正座、正装で恭しく行う年頭儀式。

最初に餅の吸い物、次に刺身、そして豚の吸い物と順番にサンゴンジュウリ（三種の料理）をいただきます。通常のお祝いは三品を同時に配膳するのが一般的となりつつありますが、正月サンゴンは一品食べ終わるごとに配膳され、家長の合図と共にいただきます。

食事がすむと上座に着いた家長が、「今年も無事に過ごすように」等と家族ひとりひとりに言葉をかけながら酒をとりかわし、烏賊や昆布のヒムン（干物）を塩につけて授けます。

子供達はサンゴンが終わらないとお年玉をもらえないので神妙な面もちで盃をいただきます。サンゴンは晴れがましくも身の引き締まる正月儀式です。

セックノヨエ（大工の祝い）

正月の二日はセックノヨエ（大工の祝い）。床の間に墨差、手斧、曲尺などの大工道具を祀り、餅、米、吸い物とお供えしサンゴンをを行います。サンゴンの盛塩は他の塩を足して瓶や壺に入れて取っておき、その後のシューバレ（お払い）に使いました。

奄美の男性は何らかの形で大工の心得がある人が多かったのでセックニン（大工）以外にもセックノヨエを行う家が多いようでした。

二日は仕事始めでもあり、サンゴンが終わると山へ行ってソテツを植えるなど簡単な仕事をしました。

また、漁師達は、船のおモチ（船首）に門松を飾り、酒と塩で船体を清め、海の神様に一年の航海安全と豊漁を祈ります。





成人式 消防出初め式

二十歳の記念日(成人式)

「二十歳の記念日・成人式」が1月4日大和村中央公民館で開催されました。色とりどりの着物や背広を身にまとった新成人を保護者や関係各位、地域住民が祝いました。

式には新成人46名のうち29名が参加。泉有智大和村教育長は、「今日の成人式を飛躍の節目とし、謙虚さと感謝の念を持ち、品格のある大人になってください」と新成人を激励。

続いて、伊集院幼大和村長、梅畑茂和大和村議会副議長、川下光大和村連合青年団長が祝辞を述べました。川下団長は「今日は必ず両親に感謝の言葉

を伝えてください。そしていつか私達と共に活動し、島を盛り上げていきましよう」とエールを送りました。

恒例の「全員スピーチ」では、新成人全員が自己紹介と将来の夢を披露。「島を離れて初めて故郷の素晴らしさと両親や地域の方々の優しさを認識しました」、「教師を目指して勉強しています。将来は島の自然を生かした教育がしたい」、「将来は村に戻りふるさと大和村に貢献したい」などと抱負を述べました。

最後に新成人を代表して今里校区の安原楓さんが、「私たちには大きな期待と夢があります。生まれ育った大和村を誇りに思い、真っ直ぐに歩んでいきたい」と謝辞を述べました。

式典中は緊張からか顔をこわばらせていた新成人たちも終了後はリラックスした様子。久しぶりに再開した友人や家族と記念撮影をするなど、若者たちの笑顔で会場は華やかな雰囲気になりました。

消防出初式(大和村消防団)

新春恒例の「平成26年消防出初式」が1月4日、大和中学校グラウンドで行われました。出初式は消防団の士気の高揚を図るとともに、1年間の無火災、無災害を祈念して毎年1月4日に開催しています。

式には村内の消防団5分団、52名が参加しました。式は、入場行進に始まり、通常点検、閲覧式を行ったほか、ポンプ操作を披露。各分団小型ポンプによる一斉放水では、団員の機敏な動きでホースが延長され、グラウンドに5本の放水アーチが架かると観客から大きな歓声が上がりました。

式辞では伊集院村長が「常に現場の第一線に立ち地域住民の生命と財産を守る団員の活動に敬意を表します。これからも関係機関と連携を深めると共に、自主防災組織のなお一層強化、充実を進め、災害に強い村づくりを目指します」と語りました。

謝辞では伊村光志消防団長が、「団員ひとりひとりが防災の精神を遵守し、常に訓練に励み地域に貢献する消防団を目指します」と決意を誓いました。

これからも地域における防災力を高め、火災や災害から村民の生命と財産を守ることを願います。

なお、表彰を受けたのは次のとおりです(敬称略)。

- 鹿児島県消防協会表彰功績賞
浜井 康彰(国直・43歳)
- 鹿児島県消防協会表彰功績賞
元山 満雄(大金久・49歳)
- 元平 哲文(湯湾金・43歳)
- 鹿児島県知事表彰10年勤続表彰
森 亮(湯湾金・31歳)
- 奥田 光夫(大棚・36歳)
- 氏家 信明(今里・54歳)
- 河野 守(大金久・48歳)
- 県消防協会大島支部長表彰15年勤続表彰
元平 哲文(湯湾金・43歳)
- 元島 敏昭(湯湾金・48歳)



- 大和校区(対象22名)**
 - 前列① 畑島 麻央
 - 前列② 下園 弥生
 - 前列③ 中 作楽
 - 中列② 谷末 夏子
 - 中列③ 田中 俊介
 - 中列④ 池田 亮輔
 - 中列⑤ 濱崎 拓也
 - 中列⑥ 仲新城直樹
 - 中列⑦ 谷末 武人
 - 中列⑧ 幡 将一郎
 - 後列① 仁島 功二
 - 後列③ 福山光太郎
 - 後列④ 平 昂大
 - 後列⑤ 奥 龍也
 - 後列⑥ 森 信之助
 - 後列⑦ 林 瑞樹
- 大棚校区(対象8名)**
 - 前列⑥ 元山なつみ
 - 前列⑦ 徳島 美咲
 - 中列⑨ 林下 熱志
 - 後列② 蔵満 大歩
 - 後列⑧ 喜島 大也
- 戸田校区(対象5名)**
出席なし
- 名首校区(対象8名)**
 - 中列① 勝山 仁太
 - 中列⑩ 勝 姫穂
 - 中列⑪ 里原ありさ
 - 中列⑫ 早川 翔
 - 後列⑨ 廣畑 良樹
 - 後列⑩ 梅田 泰明
- 今里校区(対象3名)**
 - 前列⑧ 安原 楓
 - 前列⑨ 宮田 亜美



表彰を受けた団員の皆さん



小型ポンプによる一斉放水



伊集院村長による観閲式(通常点検)



ナンカンジョーセ（七草雑炊）



ムチヌスイモン（餅の吸い物）



ウワンフネヤセ（塩豚とツワブキの煮物）



ヒキヤゲ（蒸したサツマイモのお餅）



ナンカンゼツク

1月7日はナンカンゼツク（七草）。数え年7歳の子どもたちは親類の家族を訪ね、ナンカンジョーセ（七草雑炊）をもらって廻ります。ナンカンジョーセを食べることは厄払いの意味があり、子どもが健やかに育つようにという願いが込められています。

画像は、祖母の福本美紀子さん（63歳・大柵）に祝福されナンカンジョーセをもらう福本栞南さん（父：新平さん）とそのご家族。

この日、栞南さんが身につけた晴着は祖母の美紀子さんがこの日のために仕立てた大島紬でした。栞南さんは、大好きなおばあちゃんが心を込めて織った紬を身にまとい嬉しそうな様子。また、2人のやりとりを見守る家族の顔も自然と笑顔がほころんでいました。これからも、子どもたちの健やかな成長を家族はもとより地域全体で見守っていききたいものです。

歳の祝

その年の干支にあたる13歳から85歳までの者と、88歳の者が歳の祝いをします。以前は同じ干支の日に自宅で行っていましたが、近年は一月二日にホテル等で行うのが一般的です。

女性は13歳の祝に盛大に行い、25歳などの祝いをすることは稀であったと聞きますが晩婚化の影響からか時代と共に変化しているようです。

また、祝いの膳は元日の朝三献と同じで、盃を取り交わし、干物に塩を付けて集まったひとりひとりに授けます。

カメラライ

1月15日はクワシヨウガツ（小正月）またはジュウゴンチシヨウガツといい、年の瀬のようにウワンフネヤセ（塩豚とツワブキの煮物）やトウクムチ（鏡餅）などの正月料理を食べます。ご馳走をかたづけける日なのでカメラライの日とも呼びます。

また、門松を片づける日でもあり一通りの正月行事が終わる日です。

なお、名音集落ではネントヌヒ（年頭あいさつの日）と言われ、集落の外に嫁いだ者が本家や親類、また長老にあいさつに来る日だそうです。

ヒキヤゲ

ヒキヤゲは蒸したサツマイモと餅粉を混ぜ練り合した正月料理。ヨーカトハツカ（1月18日から20日）にトクモチ（鏡餅）を「引き揚げ」て作ることからこう呼ばれているとか（真偽のほどは不明）。どちらにしても真正正銘最後の正月料理です。

18日は国直子ども会と国直老人クラブのみなさんが合同でヒキヤゲづくりに挑戦しました。子供達は20キロのサツマイモの練り合わせに悪戦苦闘した様子でしたがみんな力で合わせヒキヤゲを完成させました。

今年も子ども会と老人クラブの協力のもと伝統の味に舌鼓を打ち交流を重ねました。

今回の特集で取り上げた正月行事の中には時代と共に変化を遂げた風習も数多くあります。しかし、これらの行事も歳神や自然、先祖への「喜びと願い」に他なりません。新しい年を迎えることができることの「喜び」と一年が健康で過ごせることへの「願い」の進化の形なのです。

現代に生きる私たちは、変わり行く伝統行事の「心」を学び、次の世代へ受け継がなければなりません。



校舎横広場で喜びいっぱい帽子を空へ投げる大高野球部員ら

大島高センバツ決定!

「21世紀枠」で「奄美勢初」

第86回選抜高校野球大会（3月21日から12日間、阪神甲子園球場）の出場校を決める選考会が24日、大阪市内であり、「21世紀枠」で県立大島高校の出場が決まりました。奄美群島をはじめ県内離島の高校が甲子園に出場するのは春夏を通じて初めての快挙。

大島高校は2013年の春季・秋季の県大会において神村学園、樟南高校など強豪校を破り、2期連続の4強入りを果たし「21世紀枠」九州代表校に決定していました。

24日午後3時過ぎ、日本高等学校野球連盟から出場決定を伝える電話を受けた同校の屋村優一校長は報道陣約30人が見守る中で「謹んでお受けいたし

ます」とお礼の言葉を述べました。

授業終了後に校内放送で正式に伝えられた生徒達は、教室を飛び出し歓声を上げて喜びを分かち合いました。

昨年、奄美群島日本復帰60周年の関連行事が行われ、興奮が冷めやらぬ中で歴史的な朗報がもたらされました。

奄美市の名瀬市街地では、決定を知らせる花火の打ち上げや号外が配られ、市民らは祝福ムードに包まれました。

いよいよ大会は14日に組み合わせ抽選会、21日開幕です。阪神甲子園球場アルプスタンドがハト（指笛）やチジン（太鼓）の音に包まれ、ハッスルプレーで「大島旋風」が吹くことを期待しましょう。



甲子園出場への意気込みを見せ野球部全員（31人）でガッツポーズ
記事引用：奄美新聞・南海日日新聞（写真提供奄美新聞社）



離島のハンディを乗り越えて夢をかなえた選手のみなさん本当におめでとうございます。奄美群島民とともに精一杯応援します。「スツゴレ精神でキバレ！」

文和村長 伊集院 幼
大島高校第31回卒業

ともに支え合い半世紀

晴れやかに大和村合同金婚式を開催

大和村合同金婚式が11月22日(いいふうふの日)に大和村中央公民館で開催され、出席した4組のご夫婦を村関係者やご家族らが祝福しました。

式典では、金婚式を迎えたご夫婦の50年間の歩みやエピソードを紹介。ご夫婦に記念写真と花束と贈呈されました。開会のあいさつでは伊集院幼村長からご夫婦にねぎらいの言葉とこれまでの功績に対し感謝の言葉が述べられたほか、宮田村到議会議長からご夫婦の益々のご長寿を祈念して祝辞が送られました。

祝宴は、浜川昇さんによる祝唄や麓幸子さんによる祝舞に続き、唄や踊りなどの華やかな余興を披露。会場は笑顔と笑い声に包まれ奥様方の着物姿と相まって華やかな一日となりました。

出席した梅畑茂和・美子さんご夫婦は「結婚生活を振り返ると楽しいことも苦しいこともたくさんありました。これからも家族仲良く暮らしていきます。」とお礼の言葉を述べられました。

金婚式を迎えたご夫婦のみなさん(左から)。井上功さん(75歳)リワ子さん(77歳)名音奥田敏光さん(75歳)久美江さん(75歳)大棚(伊集院幼大和村長 宮田到大和村議会議長)伊集院哲三さん(79歳)チワエさん(74歳)津名久梅畑茂和さん(76歳)美子さん(75歳)大和浜いつまでもお元気で仲良くお過ごし下さい。



「餅もろたー！ヨイヤー！ヨイヤー！」

湯湾釜集落伝統のムチモレ踊り開催

湯湾釜集落(元継男区長・50世帯)で11月18日にムチモレ踊りが行われました。

ムチモレ踊りは、湯湾釜集落が大火事に見舞われた際に水利が悪く田んぼの泥を投げて火を消したという言い伝えに由来する伝統行事。防火と無病息災を祈願して毎年、旧暦の10月16日に行われます。

祭りの名の「ムチモレ」とは、各家々でカシャ餅(練ったサツマイモをクマタケランの葉で包んだ餅)が振る舞われことから呼ばれます。ちなみにカシャ餅は火事を消す際に使われた田んぼの泥を意味するとか。

踊りは、トネヤ(集落の守り神を祀る家)を振り出しに全世帯を一軒も漏らさず回り、深夜まで踊り明かします。踊り連は、女性用浴衣姿にスカーフや風呂敷で顔を隠した踊り手(子供や青年)と、三味線を弾く唄い手(壮年)、太鼓を叩く唄い手(婦人会)の3グループからなり、屋敷の中庭や玄関先で踊ります。踊りは八月踊りの様に決まりはなく、それぞれが思い

思いに手足を動かし陽気に踊ります。踊り手が顔を隠すのは「火事で負った火傷を隠すため」とか「単純に恥ずかしいから」など諸説あります。

ご当家からカシャ餅と金一封、飲食物等が振る舞われると、「餅貰たー！餅貰たー！」「ヨイヤー！ヨイヤー」と威勢の良い掛け声が上がりました。



ご存じですか？民生委員・児童委員

ご相談は地域の民生委員・児童委員へ

民生委員・児童委員は厚生労働大臣に委嘱されたボランティアとして地域に配置されています。現在、大和村では11名の民生委員・児童委員と主任児童委員がおり、それぞれの地域で活動を続けています。生活に困っている方や、高齢者、障害のある方、児童、母子などの相談に応じたり助言をしています。



郁島 和代
津名久



元田イシ子
湯湾釜



江崎 信子
国直



賀川 國貞
大金久



川下 八重子
大 棚



吉田のり子
大和浜



村山美智子
思 勝



池川 浩二
主任児童委員



宮田カシコ
志戸勘・今里



勝島 常雄
名 音



勝島保津江
戸 円



奄美大島 大和村産

たんかん FAX 注文書

注文先 (FAX番号) 0997-57-2982

(必須項目)

お支払い方法 *現金振り込み (ゆうちょ銀行からの振り込みは振り込み料無料となります)

ご希望のお支払い方法をお選び下さい *代金引換 (代金引換の場合1件につき370円の手数料がかかります)

(注意) ご依頼主とお届け先が違う場合の代金引換はできません。

現金振り込みご希望の方は、振り込み確認後商品の発送を行いますのでご了承下さい。

商品代金及び、別途下記の宅配料が発生いたします。

(例：代引き支払い希望の場合：商品代金+宅配料+代引き手数料)

商品価格 5kg入り 1箱 3,500円
サイズの内容量・・・3L/約20個 2L/約24個 1L/約30個

下記へご記入していただき、上の番号にFAXを送信してください。

ご依頼主様 フリガタ氏名 TEL () 注文個数 箱

下記は貴殿のご家族やご友人へ発送される場合の送付先です。

お届け先① フリガタ氏名 TEL () 配送個数 箱

お届け先② フリガタ氏名 TEL () 配送個数 箱

お届け先③ フリガタ氏名 TEL () 配送個数 箱

宅配料金一覧

Table with 2 columns: 地域 (Region) and 料金 (Price). Includes entries for 鹿児島県 (575), 九州 (635), 沖縄 (855), 四国 (755), 中国 (635), 関西 (755), 北陸 (855), 中部 (855), 信越 (955), 関東 (955), 東北 (1200), 北海道 (1300).

受付開始 平成26年 2月1日

発送開始 平成26年 2月20日

数に限りがありますので、無くなり次第締め切らせていただきます。お早めの予約注文をオススメします。

大和村特産品直売所 大和まほろば館

鹿児島県大島郡大和村大棚49番地

TEL 0997-57-2980

2月に入り奄美の冬の味覚「タンカン」が収穫期を迎えました。タンカンは中国福広東省を原産地とする柑橘類で、ポンカンとネーブルオレンジの自然交配種。高い糖度と程度の酸味(クエン酸)、豊かな香りが特徴のミカンで屋久島から奄美、沖縄の南西諸島で栽培されています。奄美大島では昭和40年代から本格的に栽培が始まり、現在では奄美大島果樹栽培の基幹作物に成長。本村においても40戸の農家が約18ヘクタールのタンカンを栽培しています。大和村の福元地区は奄美大島の中央、湯湾岳の麓に広がる盆地で、標高が高く寒暖の差が大きいことからタンカン栽培の適地として知られています。近年は村外からの入植者も多く、タンカン産地奄美大島においても注目を集める一大産地となりました。大棚小学校(山之内和英校長)の児童達は、2月21日に松崎勝彦さん(69歳・大棚)のタンカン園を訪れ収穫体験を行いました。

子供達はかねてから食べ慣れたタンカンですが実際に収穫するのは初めての様子。果実用ハサミに戸惑いながらも色づいたタンカンを物色しては次々と収穫していききました。子供達は、収穫したタンカン150キロを松崎さんからプレゼントされ学校や家族へのおみやげにいただいた他カットされたタンカンや搾りたてのタンカンジュースを試食。もぎたてタンカンのおいしさに感動した様子で一口ほおべると「めっちゃ甘〜い」と歓声を上げていました。松崎勝彦さんによると、台風や夏場の干ばつ、春先の低温などの影響は見られるものの生育は順調で、糖度も高水準で推移しているとのこと。1個試食すると濃厚な甘さと抜けるような酸味が口に広がりました。2月5日からは奄美大島共同選果場での受け入れが始まり本格的な出荷シーズンとなりました。ぜひ、太陽の光と大地の恵みの詰まった「奄美タンカン」をご賞味下さい。大和まほろば館では左記の注文書にて宅配便のご注文を承っています。お気軽にお問い合わせ下さい(注文書をコピーしてご利用下さい)。また、松崎勝彦さんも農家直売を行っています。連絡先は電話・ファックス共に0997-57-2227です。

タンカン収穫に歓声〜大棚小学校〜





奄美マングースバスターズより 捕獲作業へのご案内とご協力のお願い

10カ年計画で全島からの根絶を目標とした「奄美大島におけるジャワマングース防除事業」は、2013年度から新たな計画がスタートし、宇検村、瀬戸内町（大島側）の全域にわなを設置しています。

これまでマングースは32,000頭以上が捕獲され、近年は捕獲頭数が減少し続けています。その結果、アマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、ケナガネズミなどの希少な哺乳類の生息状況の回復が確認されています。

奄美マングースバスターズは、今後もカゴわなや筒わなによる捕獲を行うとともに、マングースの生息の有無を確認するためヘアトラップや自動撮影カメラによるモニタリング調査を実施しています（写真）。

※狩猟期間中、ご迷惑をおかけするかとと思いますがご協力何卒宜しくお願いいたします。



狩猟者へのお願い

・奄美マングースバスターズは平日の朝から夕方に、山中でわな点検等のため巡回作業をしております。目立つ服装を着用し、鈴を携帯しております。

・マングース探索犬（写真：マングースのフンや巣穴などを確認するための犬）を伴っての作業は、作業道から外れて行うこともあります。

※銃器による狩猟の場合は特に矢先の確認等ご注意ください。

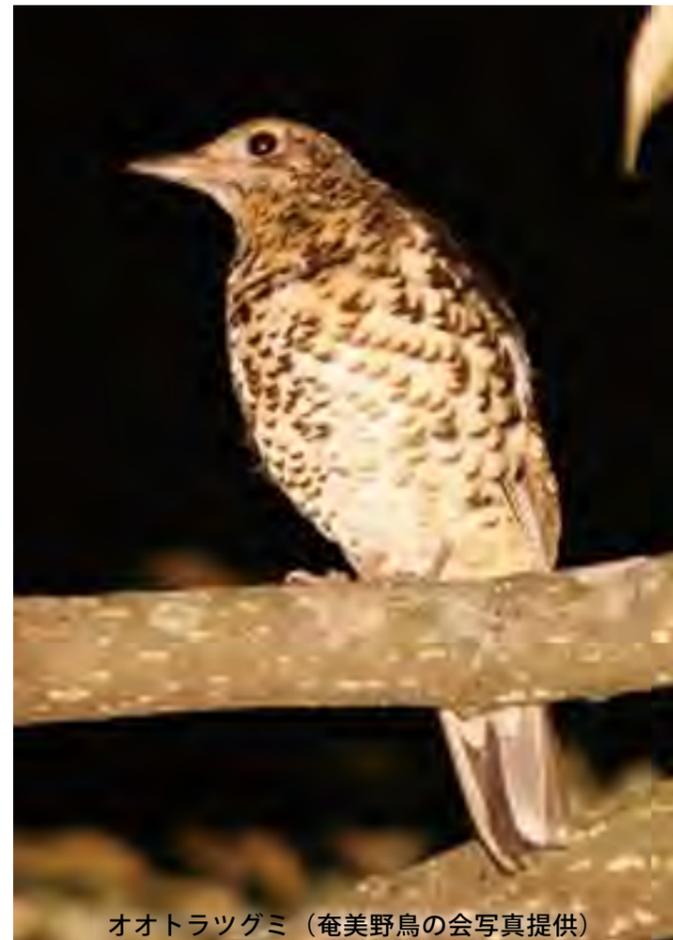


マングース探索犬（現在5頭）

奄美マングースバスターズの活動に関するお問い合わせ

- ・マングースによる農作物被害や目撃情報があった場合
- ・農作物被害対策としてのわな設置を希望する場合
- ・わなの設置場所についてのご相談
- その他、ご意見・ご要望等ございましたらご連絡下さい

- 一般財団法人自然環境研究センター奄美大島事務所
奄美市名瀬浦上1385-2 TEL: 0997-58-4013
- 環境省 奄美野生物保護センター
大島郡大和村思勝字腰ノ畑551 TEL: 0997-55-8620



オオトラツグミ（奄美野鳥の会写真提供）

オオトラツグミをさえずり調査ボランティア参加者募集

オオトラツグミをさえずり調査に参加するボランティア調査員の募集及び調査に必要な資金のご寄付をお願いします。

オオトラツグミは奄美大島だけに生息している野鳥で、絶滅危惧種Ⅱ類（環境省）に指定されており、いまだに詳しい生息状況は不明であり生息数も非常に少なく絶滅の危機にさらされています。

奄美野鳥の会では、このオオトラツグミの繁殖個体数の増減を記録しておくために、1994年からさえずり一斉調査を行っており、今回で21回目の調査となります。

早朝の奄美の森を歩いてみませんか？

この調査には一斉調査（ルートセンサス）と定点調査の2種類があります。一斉調査は早朝、二人一組で林道を行き2キロ、帰りに2キロの往復4キロ歩き、さえずっている個体の位置を地図に記入していく調査です。主な調査対象となる奄美中央林道（奄美市名瀬（宇検村）が長いため多くの調査員を必要としています。

定点調査とはあらかじめ決められた地点付近でさえずっている個体の位置を地図に記入していく調査です。この調査も参加者が多ければより多くの地域を調査することができます。

また、この調査についての寄付のお願いも行ってまいります。調査用具の購入費や調査員の保険料や朝食などの経費に充てるためです。この調査の意義をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 募集人員 120名
- 中学生以上（中学生は保護者同伴）
- 調査日
- 一斉調査 3月23日（日）
- 補足調査 3月21日（祝）・22日（土）
- 大和村地域 3月30日（日）
- その他の地域 3月15日（土）
- 調査時間 午前4時から午前9時
- 主な調査値 奄美中央林道・金作原林道・里林道・油井岳・湯湾岳

□調査方法 一斉調査・補足調査

□調査説明会 調査参加者を対象にした記録方法の説明会を3月14日（金）15日（土）午後7時30分～9時、3月16日（日）午後5時～6時30分に奄美博物館で開催。3月16日（日）午後5時～6時30分に瀬戸内町図書館・郷土館で開催します。どちらか都合のいい日に一度ご参加下さい。

□指導 石田 健（東京大学大学院農学生命科学研究准教授）

□郵便振り込み口座

0201018148601

特定非営利活動法人奄美野鳥の会

□鹿児島銀行大島支店口座

普通 1380158

特定非営利 活動法人奄美野鳥の会

理事 鳥飼久裕

□後援 環境省那覇自然環境事務所・

鹿児島森林管理所・鹿児島県大島支

庁林務水産課・奄美市・龍郷町・大

和村・瀬戸内町・宇検村

□協力 奄美発物館・瀬戸内町郷土館・

奄美マングースバスターズ

□連絡先 特定非営利法人奄美野鳥の会

〒894-0007 奄美市名瀬和光町12-8

電話・ファックス 5717593

メール: lidthi@po.synapse.ne.jp

HP: <http://www.synapse.ne.jp/~lidthi/>

参加ご希望の方は当会までご連絡下さい



旬の食材盛りだくさん



居酒屋いっさこれ森山修二さん

シマの食材でイタリアン!

魚介のフリッターと春野菜の炒め物

里ではヒカンザクラに代わってスモモの花が咲いています。アオサ(ヒトエグサ)を摘む風景や無人販売所に並ぶ時期野菜からも春の訪れを感じる今日この頃です。青果市場へ市場代行便を務める当連連森山シェフのもとには日々新鮮な野菜が入荷してきます。今回使用する野菜も全て大和村大和浜産だとか。魚介のすり身をフリッター(揚げ物)にして旬の春野菜と和えました。新鮮な食材ならではのシンプルな一皿です。どうぞ身近な野菜でお試しあれ。

《食材》

イカ・エビ・アオサ・アサリ・サヤインゲン・スナップエンドウ・オランダエンドウ豆・ブロッコリー・カボチャ・ミニトマト・玉葱・ネギ

《調味料》

オリーブオイル・塩・コショウ・小麦粉・卵・白ワイン又は料理酒

《調理法》

- ① イカとエビをフードプロセッサーでミンチにする
- ② ①にアオサ、玉葱スライス、ネギ輪切り、卵(1個)、小麦粉、塩、コショウ、オリーブオイルを入れよく混ぜて団子状にする
- ③ ②を油で揚げる
- ④ アサリを少々の水で蒸す
- ⑤ 野菜はスジを取り軽く湯通しする
- ⑥ フライパンにオリーブオイル・白ワインを入れ③④⑤を炒める(炒めすぎないのがコツだとか)

こせきの窓

人口 1,647人(△25)
男 798人(△3)
女 849人(△22)
世帯 876戸(△4)

1月1日現在
(前年同月比)

島の宝 満1歳おめでとう

民 歩和さん
保護者・民幸和さん(名音)



一家を明るくする民家のアイドル。じいじも××××××でした。

前田 龍清さん
保護者・前田清和さん(大柵)



愛嬌たっぷりのイケメンぶりはパパ譲りかな?

上村 彪波さん
保護者・上村拓三さん(湯湾釜)



カメラを向けるととびっきりの笑顔でにっこりポーズ。

- ご誕生おめでとう
伊村 咲希さん(伊村勇治・大金久)
お悔やみ申し上げます
森田 幸一郎様(51歳・大柵)
長田 勝 様(90歳・大和の園)
塚元 スギ 様(88歳・戸円)
直島 ツギ 様(83歳・津名久)
行田 辰也 様(75歳・名音)
松浦 ワカ 様(91歳・戸円)
- 香典返し(社会福祉協議会へ)
永井 幸子 様(故森田幸一郎様)
三浦 良子 様(故塚本スギ様)
行田カキユ 様(故行田辰也様)
- ふるさと納税ありがとうございました
川口 正夫 様(東京都)
青山 泰長 様(愛知県)
ながさきんちゅ様(宮崎県)
眞鍋 一 様(東京都)
西川 玲子 様(京都府)
前里 直樹 様(霧島市)
岩淵 輝美 様(東京都)
吉原 安久 様(沖縄県)
田中 旭 様(愛知県)
河野 達人 様(日置市)
蔵満 逸司 様(鹿児島市)
- 広報誌謝礼ありがとうございます
福永純一郎 様(鹿児島市)

今月の題字

(と) 大和中学校1年 武原美希さん
(ま) 大和中学校1年 直崎京花さん
(や) 大和中学校1年 上野真歩さん
村内の中学校統合により「新設・大和中学校」が開校してまもなく三年。「個性の花咲く大和中」のキャッチフレーズのとおり子供達は様々な分野で目を見張る活躍を収めています。力強く題字を書いてくれた美希さん、京花さん、真歩さんの三人も勉強や部活動で「世界で一つだけの花」を咲かせてください。



第5回

宮古崎 つつじウォーク

3月9日(日)

植樹とウォーキングで宮古崎を再生

宮古崎はツツジの名所として知られ開港時には
船を真っ赤に染めたと言われていたが、盗掘に
まよってその多くが持ち去られ、現在は絶滅の危機
に瀕しています。

「人間によって壊された自然は人間の手で再生
できる。」との思いから、私達は宮古崎ツツジの
復活を願い植樹活動を行っています。

また、多くの人に宮古崎のすばらしさを知って
もらうため、植樹と併せてウォーキング大会を開
催しています。

宮古崎の雄大な自然を感じながら、自然の再生
に手を差し伸べてみませんか？



- 宮古崎は固定公園ですの動物植物の採集、採取等はできません。
- ゴミは各自で持ち帰りましょう。
- 植樹箇所は深い草に覆われていますので長ズボンを着用してください。
- 苗木の運搬をお願いしますのでリュックサック等をご持参願います。

主催：宮古崎つつじウォーク実行委員会
後援：国直集落・国直青年団
<http://kunnyori.blog43.fc2.com/>